

日興アッシュモア新興国 財産3分法ファンド 毎月分配型

2020年7月6日

日興アセットマネジメント株式会社

(ブラジルリアルコース) / (インドルピーコース)

2020年7月決算における分配金額のお知らせ

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」の各通貨コースは、2020年7月3日に決算を行ないました。

当ファンドのブラジルリアルコースは、今回の決算において、市況動向や基準価額に対する分配金額などの状況を総合的に勘案し、また、分配金額を減らすことで運用を行なう資産を増やし、将来の運用成果を高めることをめざして分配金額を以下のように変更しましたので、ご報告申し上げます。

次ページ以降で、市況動向や今後の見通しなどについてご説明しておりますので、ご一読いただけますと幸いです。今後とも、「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型」

コース名称		ブラジルリアルコース	インドルピーコース
分配金額	今回（2020年7月）	10円	20円
	前回（2020年6月）	20円	20円
	累計額 （2020年7月まで）	9,690円	8,550円
基準価額（税引前分配金控除後） 2020年7月3日現在		1,489円	3,246円

- 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後、分配金額は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合があります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）/（インドルピーコース）」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資対象資産と新興国通貨の動き

【投資対象資産の動き】

新興国株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた景気減速懸念と米国株式の大幅下落に加えて、リスク回避の動きに伴う新興国からの資金流出の影響から、2020年3月にかけて大幅な下落となりました。その後、各国政府や中央銀行による対策を受けて投資家心理が改善したことから、中国などの株式市場を中心に上昇に転じました。

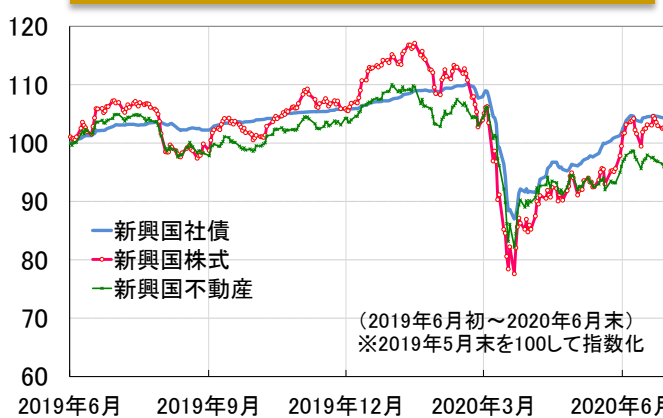
新興国債券市場は、新型コロナウイルス感染拡大や原油価格下落に伴ない、リスク回避の動きが強まったことから、2020年3月にかけて大幅な下落となり、海外資金への依存度の高い国を中心にスプレッドは急上昇し、一部の国では利払いの停止などが発表される事態となりました。その後、先進国を中心に経済政策が発表され、中央銀行による資産購入などによって市場の流動性が回復したことや、産油国間で減産合意がなされ原油価格が持ち直したことなどから、4月以降は上昇傾向となりました。

新興国不動産市場の中心である中国では、引き続き都市部の不動産需要は高く、当局が不動産融資の抑制に動いたものの緩やかな拡大が継続しているとみられます。市場は、2020年3月にかけて下落しましたが、足元は戻り歩調にあります。

【新興国通貨の動き】

新興国通貨は、新型コロナウイルス感染拡大や原油価格下落に伴ない、リスク回避の動きが強まったことから、2020年3月にかけて総じて軟調な推移となりました。商品市況の下落や新興国市場から投資資金の引き上げを急ぐ動きなどが新興国通貨全体を押し下げました。

投資対象資産の値動き(米ドルベース)



新興国通貨の値動き(対円レート)



- 新興国社債: JPモルガンCEMBIブロード・ディバースファイド・ノン・インベストメントグレード
 - 新興国株式: MSCIエマージングマーケット指数
 - 新興国不動産: MSCIエマージングマーケット不動産株指数およびCSエマージングマーケット不動産社債指数の平均リターン
- ※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当ページのコメントは、当ファンドの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドから提供されたデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/ (インドルピーコース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資対象資産と新興国通貨の今後の見通し

【投資対象資産】

新興国は、相対的に政策金利の引き下げ余地が大きく、財政面の健全性も高い国が多いことから、IMF(国際通貨基金)は2020年の景気減速幅は先進国より小さく、2021年の成長率は先進国よりも高くなると予想しております。先進国は新型コロナウイルスの感染収束後も低金利政策を継続すると見られ、結果として新興国通貨高が見込まれる点も新興国資産にとってはプラス材料と言えます。加えて、米国の政策金利が低位で推移することが予想され、利回りが比較優位で、相対的に成長率の高い新興国の債券は堅調な推移となると見られます。

「**新興国株式**」経済の正常化が進みつつあり、ファンダメンタルズの改善が見込まれる中国が株式市場を下支えすると思われます。中国の景気底打ちはアジア経済にとって支援材料になると考えられ、周辺国や貿易での関連が深い国の株価には好材料になると見ています。バリュエーションの点からも、先進国に比べ割安な新興国株式は先進国株式を上回るパフォーマンスが期待されます。

「**新興国債券**」流動性が低下した局面では信用力の低い債券が相対的に下落しましたが、足元では米国の政策金利が低位安定する中で、再び利回りの高い債券への資金流入が期待されます。

「**新興国不動産**」株式や債券を取り巻く環境の改善に加え、不動産市場が各国政府のコントロールによって過熱感なく推移しており、業績は安定的な推移が期待されることなどから、底堅い動きが想定されます。

【新興国通貨】

新興国通貨については、新型コロナウイルスの感染拡大や米中貿易問題の再燃などの可能性から、短期的には変動が大きくなる展開が想定されますが、先進国による通貨安政策などにより中期的には新興国通貨高が予想されます。

「**ブラジルリアル**」新型コロナウイルスの感染急拡大によりブラジルの景気は減速しているものの、通貨安により、足元の経常収支は黒字が拡大しています。経済のファンダメンタルズは健全で、重要な輸出先である中国経済の回復もプラス要因ですが、新型コロナウイルス感染拡大や、政治面など国内問題が落ち着くまでは投資家が慎重なスタンスを続ける可能性があります。

「**インドルピー**」5月に予想外の利下げによりインドルピーは軟調な推移となりましたが、政府は、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響を抑制するために、財政政策や農業関連を中心とした構造改革を発表しています。引き続き新規感染者数の増加など社会的な問題が続くとみられるものの、発表された政府の対策が評価され、緩やかに上昇するものと考えています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当ページのコメントは、当ファンドの実質的な運用会社である、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドから提供されたデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/ (インドルピーコース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

Q&A 今後も分配金が引き下げられる可能性はありますか？

分配金額は、毎決算時に委託会社が収益分配方針に基づいて決定していますので、今後の市況動向や基準価額の水準、分配金の原資などの状況によっては、現在の分配金の水準を変更する場合、あるいは分配金の支払いを行わない場合があります。よってあらかじめ一定の額の分配金のお支払いをお約束するものではありません。ただし、当ファンドは今後も収益分配方針に則り、安定した分配金を継続してお支払いすることをめざします。

※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があるにご注意ください。

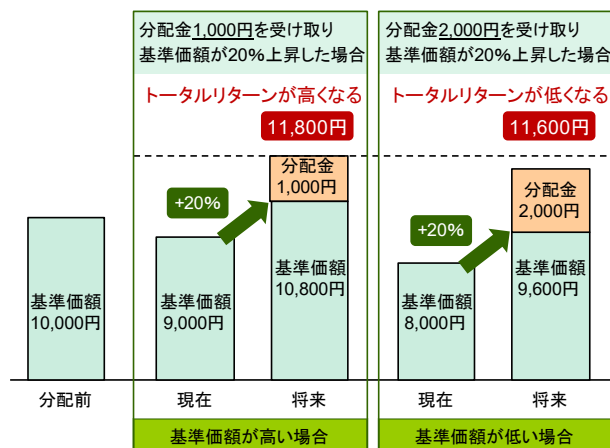
Q&A 分配金を多く支払うファンドに乗り換えた方がいいですか？

分配金はファンドの運用成果の一部として、決算日における受益者（投資者）の皆様に、当該ファンドの信託財産の中から支払われるものです。こうしたことから、分配金が支払われると、当該分配金の分だけ基準価額は低下します。

ファンドで得られた収益などをどのように配分するか（分配金として支払う／内部留保として投資に振り向ける）は、各ファンドによって異なることから、分配金額の多い／少ないは、ファンドの良し悪しを決定するものではなく、受益者にとって直接的な投資成果の優劣につながりません。

よって、ファンドへの投資成果を検証される場合には、投資資金に対する分配金額の多寡ではなく、検証時における基準価額の水準を含めた総合的な収支をもって行なわれることが、重要であると考えます。

また、分配金額の引き下げに伴う差額はファンドの信託財産に留保されます。そのため、投資資産の値上がりなどにより基準価額が上昇する局面では、分配金額を引き下げてファンドの基準価額を高く保った方が、分配金を多く支払い、基準価額が低い場合に比べ、基準価額の上昇幅が大きくなります。



※上記はイメージ図です。

Q&A 引き下げた分の分配金はどこにいったのですか？

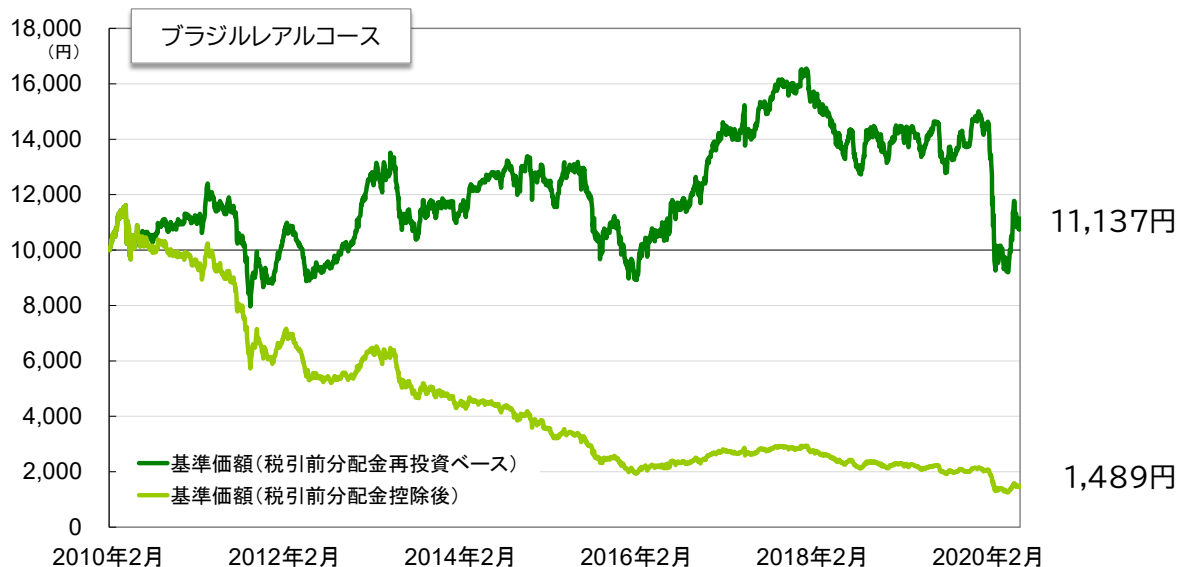
分配金はファンドの純資産から支払われるため、今回の分配金額の引き下げに伴ない、従来の分配金額から減少した差額は当ファンドの純資産に内部留保され、投資に振り向けられることとなります。

Q&A 分配金額を事前に知ることはできますか？

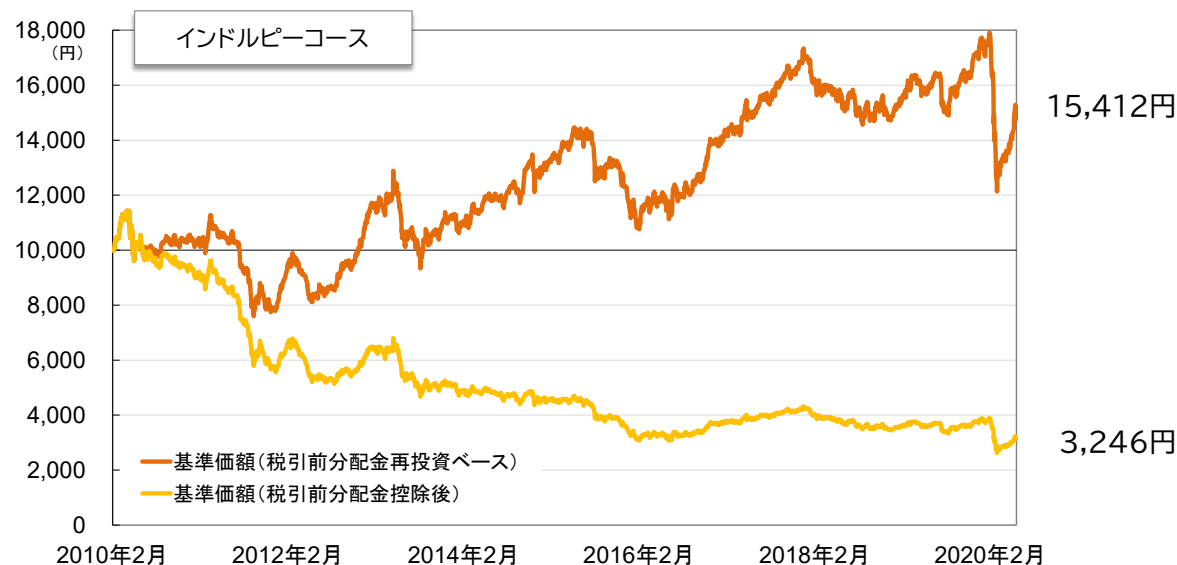
分配金額は、毎決算時に委託会社が収益分配方針に基づいて決定しています。従って、決算日に基準価額が公表されるまでは事前にご確認いただくことはできません。

基準価額と分配金の推移

(2010年2月26日(設定日)～2020年7月3日)
※基準価額および分配金は2020年7月3日の状況です



2010/7～ 2011/10	2011/11～ 2012/7	2012/8～ 2015/4	2015/5～ 2015/10	2015/11～ 2016/4	2016/5～ 2020/6	2020/7
190円 / 月	150円 / 月	110円 / 月	70円 / 月	40円 / 月	20円 / 月	10円 / 月



2010/7～ 2011/10	2011/11～ 2012/7	2012/8～ 2015/4	2015/5～ 2015/10	2015/11～ 2016/4	2016/5～ 2020/7
150円 / 月	130円 / 月	100円 / 月	70円 / 月	40円 / 月	20円 / 月

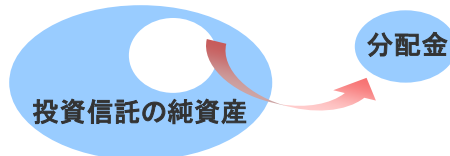
※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。
 ※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

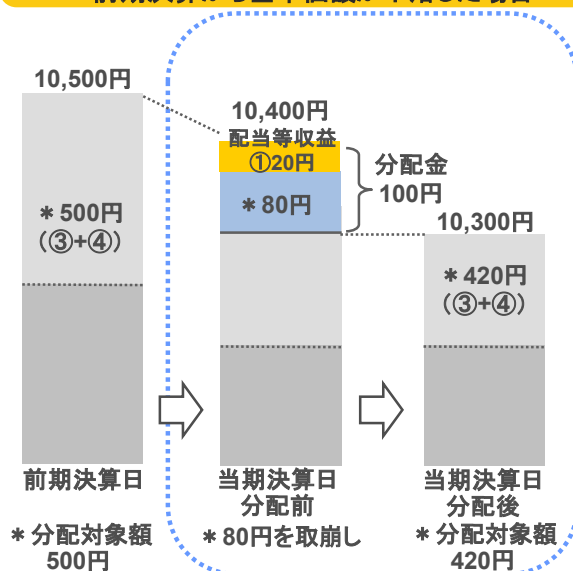
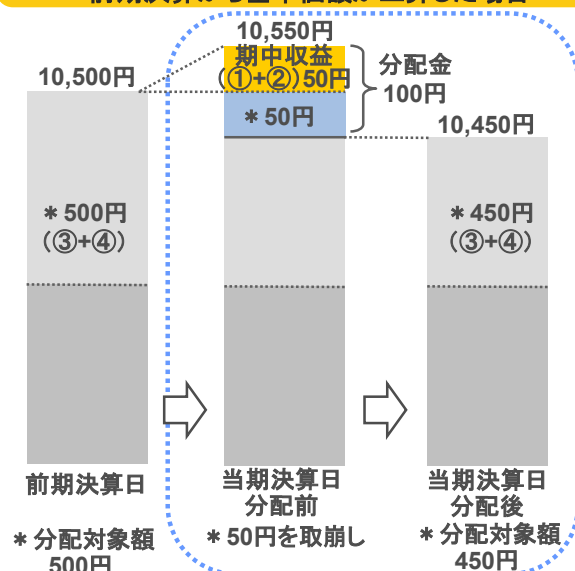


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



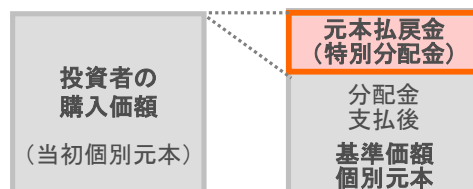
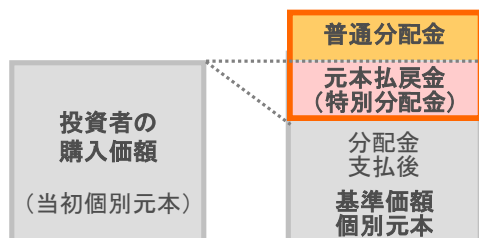
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

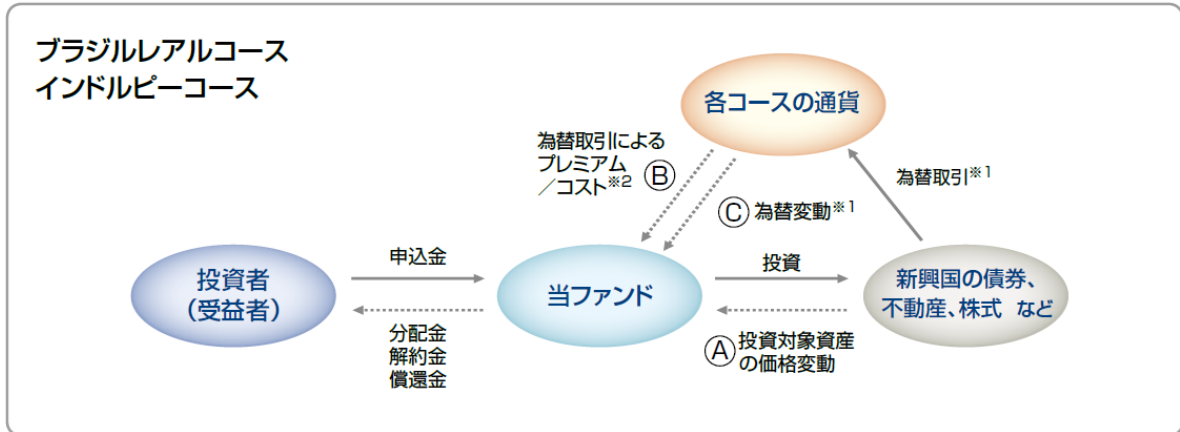
普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 G7の国の通貨部分については、各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。その他の通貨部分については、当該通貨と円の為替変動リスクがあります。

※2 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、後述の「投資リスク」をご覧ください。

	(A)	(B)	(C)
収益の源泉	資産の値上がり/値下がり	為替取引によるプレミアム/コスト	為替差益/差損
ブラジルリアルコース	収益を得られるケース	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利 - 原資産通貨の金利 が プラス	為替差益の発生 各コースの通貨/ その他の通貨※1に対して 円安
インドルピーコース	損失やコストが発生するケース	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利 - 原資産通貨の金利 が マイナス	為替差損の発生 各コースの通貨/ その他の通貨※1に対して 円高
	投資対象資産(債券、株式、不動産)の上昇など		
	投資対象資産(債券、株式、不動産)の下落など		

※1 その他の通貨とは、当ファンドにおいては為替取引を行なわないG7以外の国の通貨をさします。

* 市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用についてのご留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型 (ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券、株式および不動産投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式および不動産投信の価格の下落や、債券、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【デリバティブリスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

日興マネー・アセット・ファンド

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型(ブラジルリアルコース)/(インドルピーコース)」および「日興マネー・アセット・ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	＜(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)＞追加型投信／海外／資産複合 ＜日興マネー・アセット・ファンド＞追加型投信／国内／債券
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2025年2月3日まで(2010年2月26日設定)
決算日	＜(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)＞ 毎月3日(休業日の場合は翌営業日) ＜日興マネー・アセット・ファンド＞毎年2月3日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	＜(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)＞ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 ※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ＜日興マネー・アセット・ファンド＞ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金 申込不可日	＜(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)＞ 販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日または購入・換金の申込日の翌営業日が下記のいずれかに該当する場合、もしくは、購入・換金の申込日から起算して9営業日目までの期間中に下記のいずれかが2日以上ある場合は、購入・換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ガーンジーの銀行休業日 ※日興マネー・アセット・ファンド スイッチングを伴う購入・換金の申込みについて、スイッチング対象である上記各コースの購入・換金申込不可日には受付を行ないません。 * スwitchングを伴わない換金の申込みについては、販売会社の営業日に受付を行ないます。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して9営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料

＜(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)＞

購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内

＜日興マネー・アセット・ファンド＞ありません。

※日興マネー・アセット・ファンドは、スイッチング以外の購入はできません。

※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が
定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが
行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)

＜(ブラジルリアルコース)／(インドルピーコース)＞

純資産総額に対し年率2.339%(税抜2.24%)程度が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.089%(税抜0.99%)、投資対象
とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率1.25%程度となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の
組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

＜日興マネー・アセット・ファンド＞

ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.605%(税抜0.55%)以内

その他の費用・ 手数料

目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々
の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が
信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、
信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することは
できません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社

三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/
〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）」

投資信託説明書（交付目録見書）のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第6号	○			
SMBCB興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

（資料作成日現在、50音順）

「日興アッシュモア新興国財産3分法ファンド毎月分配型（インドルピーコース）」

投資信託説明書（交付目録見書）のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第6号	○			
SMBCB興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

（資料作成日現在、50音順）

